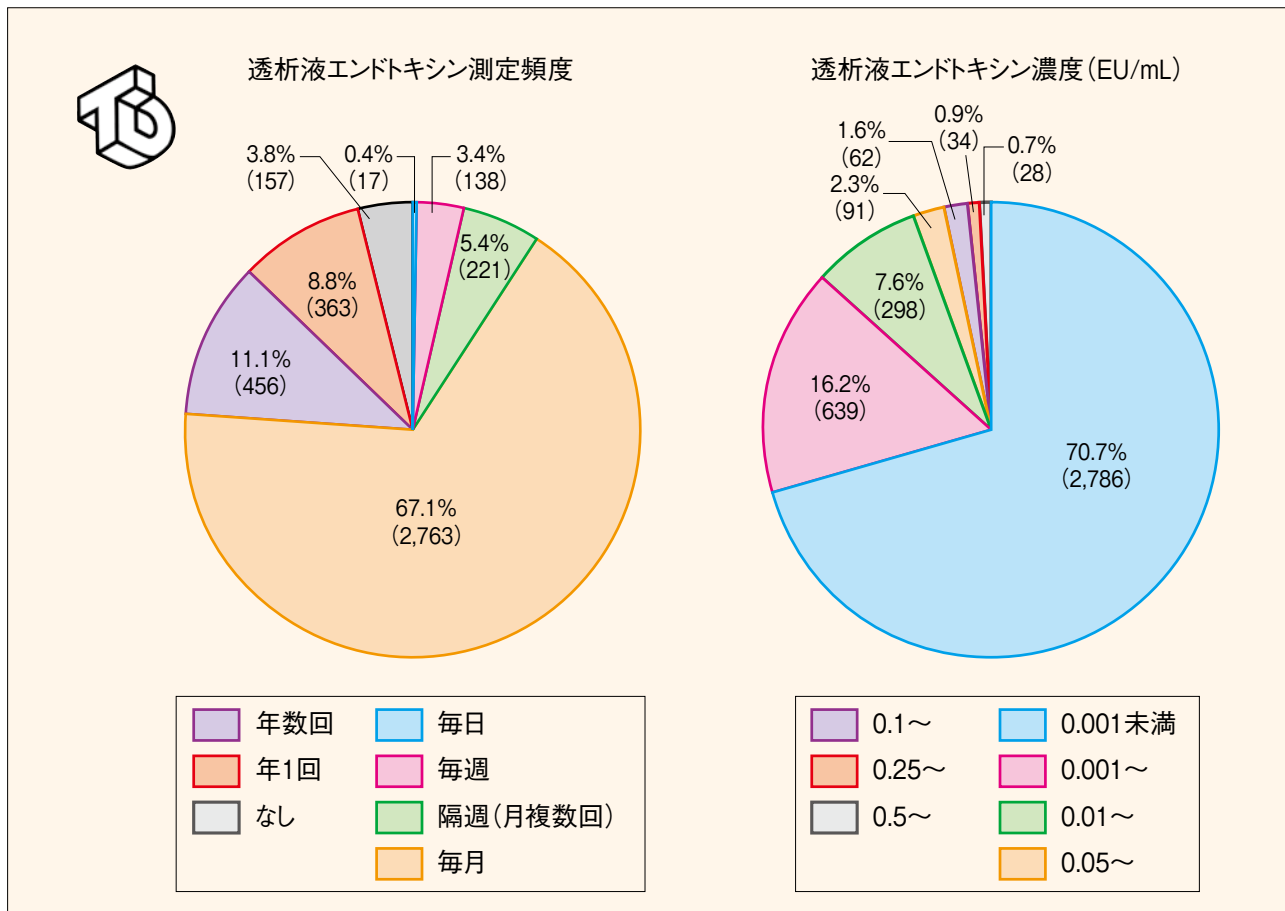


1) 透析液水質管理状況

(1) 透析液エンドトキシン検査 (図表24)



透析液エンドトキシン測定頻度	毎日	毎週	隔週(月複数回)	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
施設数 (%)	17 (0.4)	138 (3.4)	221 (5.4)	2,763 (67.1)	456 (11.1)	363 (8.8)	157 (3.8)	4,115 (100.0)	77	9	4,201

透析液エンドトキシン濃度 (EU/mL)	0.001未満	0.001~	0.01~	0.05~	0.1~	0.25~	0.5~	合計	不明	記載なし	総計
施設数 (%)	2,786 (70.7)	639 (16.2)	298 (7.6)	91 (2.3)	62 (1.6)	34 (0.9)	28 (0.7)	3,938 (100.0)	197	66	4,201

施設調査による集計

解説

透析液エンドトキシン濃度測定頻度はベッドサイドコンソール台数が1台以上のアンケート回答全施設4,201施設中4,115施設(98.0%)から回答があった。回答施設の96.2%で少なくとも年1回以上の透析液エンドトキシン濃度測定が行われており、この割合は年々徐々に増加している。日本透析医学会の水質基準では、月1回以上の透析液エンドトキシンの測定を推奨しているが、76.3%の施設がこれに合致し、昨年の71.9%に比較して増加した。

透析液エンドトキシン濃度は3,938施設(93.7%)から回答が得られた。日本透析医学会の水質基準ではすべての透析治療に超純粋透析液(ET 0.001EU/mL未満を担保)を推奨しており、標準透析液0.05EU/mL未満は必要最低限の水質としている。0.001EU/mL未満は70.7%の施設で達成、0.05EU/mL未満は94.5%で達成されており、これは昨年のそれぞれ65.9%、92.9%と比較し増加していた。